

令和2年度(2020年度)

管理事業名	公園緑地事業				総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 3 みどりの保全と創出
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 2 公園整備費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室			
予算大事業名 公園緑地事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 公園緑地等は市民生活にうるおいと安らぎを与え、また憩いの場や災害時の避難地となります。そして適切な公園緑地等の維持管理を図ることにより、市民及び利用者が安全に安心して利用していただき、満足してもらいます。 【概要】 樹木の剪定、除草、施設の点検及び修繕などの維持管理 公園緑地等の整備 公園緑地等の管理に関する協議及び許可						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
市で管理する都市公園等の管理面積	ha	220.89	221.95	222.39	吹田市管理の都市公園・遊園・緑地・緑道の面積
緑あふれる未来サポーター登録団体数	団体	96	101	91	市民協働による維持管理の団体数
成果の説明	都市公園等面積の増加は、開発行為に伴う移管遊園によるものです。 緑あふれる未来サポーターの登録団体数は、高齢化による会員数の減少等により、登録団体数も減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	44,567	60,365	57,171	△3,194
経常収入				
経常支出金(経常費用充当)	-	-	9,900	9,900
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	438,827	556	1,225,881	1,225,325
経常収入 小計(a)	483,395	60,921	1,292,952	1,232,031
給与関係費	202,235	212,775	213,077	302
物件費	731,334	559,615	640,601	80,986
維持補修費	190,374	195,529	352,075	156,546
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5,469	3,453	3,469	16
特別会計への繰出金	-	-	-	-
費用				
減価償却費	45,464	52,542	52,654	113
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	13,910	15,481	14,823	△658
退職手当引当金繰入額	20,606	16,714	△1,598	△18,313
支払利息	11,666	10,299	9,141	△1,158
その他	23,725	30,397	△30,397	-
経常費用 小計(b)	1,244,783	1,096,803	1,284,241	187,438
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△761,388	△1,035,883	8,710	1,044,593
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	326,364	14,000	871,025	857,025
特別収入 小計(d)	326,364	14,000	871,025	857,025
特別収支差額(d)-(e)=(f)	326,364	14,000	871,025	857,025
特別費用				
固定資産除売却損	0	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	0	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	326,364	14,000	871,025	857,025
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△435,024	△1,021,883	879,735	1,901,618
一般財源充当額	1,207,118	1,064,453	1,350,036	285,583
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	772,094	42,570	2,229,772	2,187,201

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	・公園等遊具点検業務 7,502千円 ・樹木健全度調査業務 14,283千円 ・官民連携による桃山公園及び江坂公園の魅力向上策検討業務 9,398千円 ・吹田市グリーンインフラ活用型都市構築支援事業調査・計画策定業務 4,928千円
維持補修費	・吹田市文化会館改修工事に伴うみずみの園公園改修工事 106,150千円 ・千里北公園水遠池護岸改修工事(第3期) 99,207千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	47,932	60,921	67,082	6,162
行政サービス活動支出	1,168,827	1,009,204	1,248,033	238,829
行政サービス活動収支差額	△1,120,895	△948,283	△1,180,951	△232,668
投資活動収入	23,100	21,000	20,000	△1,000
投資活動支出	13,867	-	1,255	1,255
投資活動収支差額	9,233	21,000	18,745	△2,255
財務活動収入	119,500	61,700	16,200	△45,500
財務活動支出	214,956	198,869	204,031	5,161
財務活動収支差額	△95,456	△137,169	△187,831	△50,661
収支差額 合計	△1,207,118	△1,064,453	△1,350,036	△285,583
一般財源充当額	1,207,118	1,064,453	1,350,036	285,583
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動収入) 古江台展望緑地法面復旧のための公園等災害復旧事業債がなくなったため。
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人当たりのコスト	平成30年度	371,030 人	3,355 円	物件費、維持補修費が増加したことにより、コストが増えたものです。
	令和元年度	373,978 人	2,933 円	
	令和2年度	376,944 人	3,407 円	
公園等1㎡当たりのコスト	平成30年度	2,208,900 ㎡	564 円	物件費、維持補修費が増加したことにより、コストが増えたものです。
	令和元年度	2,219,500 ㎡	494 円	
	令和2年度	2,223,900 ㎡	577 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	219,511	249,137	29,626
未収金	-	-	-	地方債	198,565	229,500	30,935
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	15,481	14,823	△658
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	5,465	4,814	△651
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	197,187,012	199,537,012	2,350,000	固定負債	1,017,177	995,360	△21,817
土地	196,589,097	198,990,449	2,401,352	地方債	855,521	847,421	△8,100
建物・工作物	577,218	530,096	△47,122	長期借入金	-	-	-
リース資産	20,697	15,213	△5,485	退職手当引当金	146,337	137,434	△8,903
建設仮勘定	-	1,255	1,255	リース債務	15,319	10,505	△4,814
無形固定資産	873	826	△48	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	1,236,688	1,244,497	7,809
インフラ資産	-	-	-	純資産	195,951,197	198,293,341	2,342,144
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-	純資産の部合計	195,951,197	198,293,341	2,342,144
重要物品	0	0	0				
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	197,187,885	199,537,838	2,349,953
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	197,187,885	199,537,838	2,349,953				

Ⅲ 財務構造分析

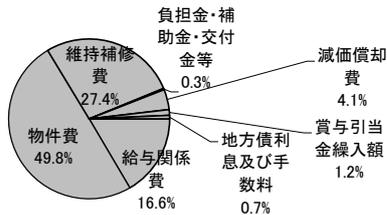
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	23.17人	3888日		合計(千円) 226,302
給与関係費等	182,876千円	43,425千円		
内、時間外勤務手当	3,654円			

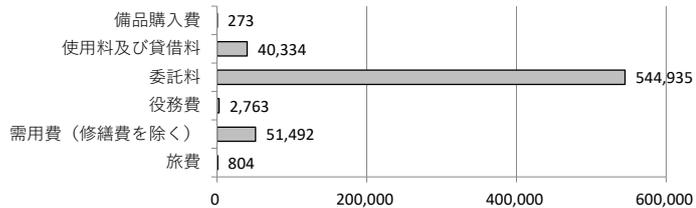
貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	公園の開設及び開発行為に伴う移管・帰属

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	公園施設
取得年月日	昭和31年(1956年)4月21日
建物・工作物の取得価額	1,462,010千円
建物・工作物の減価償却累計額	931,914千円
利用料金収入	57,171千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		13.0	13.4	24.1	10.7
施設老朽化比率		57.3	60.5	63.7	3.2
受益者負担比率		3.6	5.5	4.5	△1.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		86.4	88.1	92.9	4.8
経常費用対公共資産比率		85.1	75.0	87.8	12.8

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費640,601千円(49.8%)、維持補修費352,075千円(27.3%)、給与関係費213,077千円(16.6%)となっています。物件費の内訳としましては、委託料が544,935千円、使用料及び賃借料が40,334千円、需用費51,492千円、役務費2,763千円となっています。維持補修費率は維持補修費が増加したことに伴い上昇しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

公園施設老朽化比率が市保有施設全体の老朽化比率を上回っていること、及び開発行為による移管帰属により、管理施設も増加していることから、今後はさらに樹木健全度調査や施設点検業務の結果を活用し、予防保全型管理を進めることによる維持補修費用の平準化が課題と考えています。